



岩美町
IWAMI

ピザ窯で使う薪の調達に協力を求めたのが、地域と関わるきっかけに

宿を開業して岩美の魅力を伝えたい

「岩美町地域おこし協力隊」

よこやま たかし
横山 貴俊 さん

協力隊になったきっかけは？

山も海も大好きで、毎週のように鳥取や長野、和歌山などへ出かけしていました。移動時間も経費ももつたないので、いつそ現地に住んでしまおうと移住を検討。なかでも岩美が最有力候補でした。

移住の最大のネックは仕事。岩美町に相談する中で、地域おこし協力隊の募集の情報を知りました。「いわみ暮らし体験会」にも参加して郷土料理や塩造りを体験。地元の方にも良くしていただいて、「ここだ」という思いを強くしました。

現在の活動と今後の夢は？

「岩美町の東浜エリアにあるイタリアン・レストラン『アルマーレ』を拠点とする魅力発信」が私の任務。SNSでの情報発信や接客、調理補助など業務は多岐にわたります。

現在は、東浜の「お散歩マップ」を作っています。

ピザを焼く薪代を節約しようと、倒木で薪造りを始めたのが地域の方との最初の協働作業でした。以来、漁や野菜づくりなど、アルマーレの外に世界が広がっています。

協力隊の3年という期限は少し不安でしたが、宿を営む夢に向けて、地域の方にお世話になりながら、さまざまなことを学んでいます。東浜の民家を改装する宿は、もう完成間近。これまで仕事は1つに専念するものと思いましたが、ここでは宿の経営、漁業、農業と、いろいろなことができそうです。生活費も大阪時代よりかなり減り、不安が消えました。

早朝サーフィンをしたり、親子3人で夜の林道ドライブで動物を探したり、人付き合いも密で、来て良かったと感じています。



PROFILE

大阪で生まれ育ち、進学・就職。前職は登山用品などを扱う会社の営業。妻もアウトドア派でアクセサリーを自作販売する。4歳の息子と3人家族。祖父母は鳥取市民。

- 活動内容/アルマーレを拠点とした魅力発信
- 出身地/大阪府大阪市
- 活動地域/岩美町東浜
- 活動開始年月/2017年5月



料理長とアルマーレのデッキにて打ち合わせ。大好きな海の近くで働き、暮らす日々



食材の栽培にも取り組んでいる



岩美町
IWAMI

譲り受けた1.5トンの漁船は「大作丸」と改名して調整でき次第操業開始

岩美の観光力をグレードアップ！

「岩美町地域おこし協力隊」

さいさい だいさく
笹井 大作 さん

協力隊になったきっかけは？

大阪府高槻市に暮らし、好きなサーフィンをしに鳥取へよく通っていました。なかでも岩美の雰囲気が一番自分に合っていて、いつか住みたいと思っていました。

2年前の春、息子3人の子育てがひと段落した区切りもあって、いよいよ移住を決意。ホームページを通しての相談をきっかけに大阪の移住相談会で岩美町の地域おこし協力隊募集のことを知り、2017年9月に単身で来ました。

田後に築数十年の民家を借りていますが、5年住めば譲っていたいただけるとのこと。地域の方々も温かく、楽しく暮らしています。

現在の活動と今後の夢は？

協力隊として就いた田後漁協では、1年半ほど海産物の加工品づく

くりをしました。任期終了後は地元の方から譲り受けた漁船を活用して家族連れや初心者も参加できるフィッシングガイドをしようと思っており、現在は、その準備をしています。いつどこで何が釣れるかななどを体験しながら調査。釣れた魚は販売することもあります。

また、鳥取県岩美渚泊推進協議会事業に参画し、岩美町内の観光や農水産業など横の連携を広げ、多彩な体験ツアーを企画したいと考えています。お世話になってる加工所も巻き込みたいですね。

田後の漁村は、人口減少により空き家が増えています。それらを活用したカフェやアンティーク雑貨店、宿泊施設などの活用は地域と協力して取り組み、情報発信をしていきたいです。住んでますます実感した岩美の魅力を、多くの人に伝えたいと思います。



PROFILE

前職は便利屋を営む自営業者。子育てが終わり、家族の理解を得て憧れだった岩美町へ移住。釣りや日曜大工的な作業が得意で、船舶免許、古物商の資格を持つ。

- 活動内容/海産物加工品作り、観光振興など
- 出身地/大阪府高槻市
- 活動地域/岩美町田後周辺
- 活動開始年月/2017年9月



仲間とリフォームした自宅にて、趣味のサーフボードをお手入れ



活動1年目の加工品 燻製天日干しほたるいか